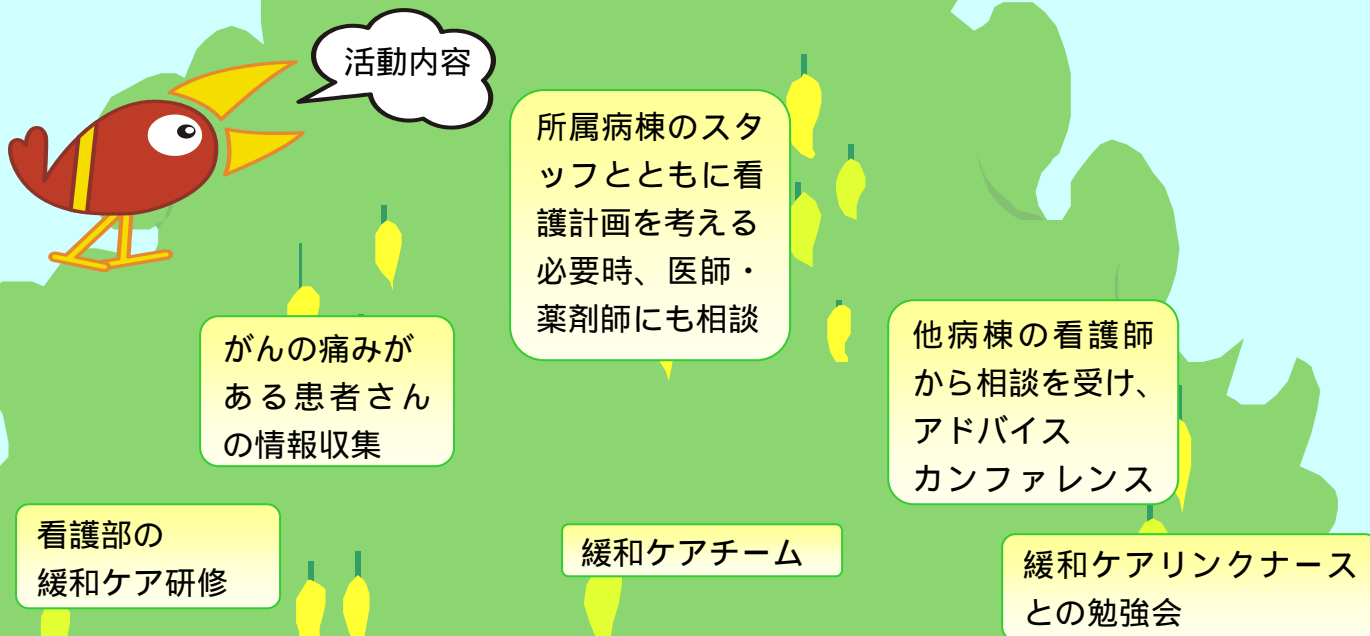


「緩和ケア」や医療用麻薬の使用は、終末期にだけ行われるものではありません。痛みは、他の症状に比べ比較的早期から現れることが多いです。がんと診断されたときから、症状が緩和され、がんの痛みで悩まされる患者さんが少しでも少なくなることを目指して、活動しています。



がんの痛みは身体的なものだけではなく、精神的な苦痛や、社会・経済的な悩み、さらにはなぜ病気になったのか、なぜ自分は生まれてきたのかなど、魂の悩みなどが、影響します。適切な薬物療法を行うことで、痛みの80%~90%は緩和できるといわれています。

その過程で大事なことは、様々な側面からのアプローチですが、これらは、1つの職種だけでは行うことができません。そのため、多くの職種で構成された緩和ケアチームが必要になります。週1回、この緩和ケアチームの一員としても、活動しています。

現在は、当院に入院している患者さんを対象にしています。主治医に「緩和ケアチームがあると聞いたんですが・・・」など、緩和ケアを受けたい意思を伝えていただければ、主治医から依頼がかり、介入開始となります。気軽に声をかけてください。



緩和ケアチーム

医師
看護師
薬剤師
臨床心理士
がいます
毎週木曜日に
活動しています